

別記様式第2号（第7条、第8条、第10条関係）

事業実施計画書（~~変更事業実施計画書~~）

担当者： 精華 次郎

電話番号： ***-****

E-mail： seika@...

事業所名	株式会社セイカ製作所			代表者	代表取締役 精華 太郎		
郵便番号	619-0243	住所	京都府相楽郡精華町南稲八妻				
創業年	1985	法人区分	株式	資本金	1,000万円	従業員数	20人
業 種	製造業	主要商品	樹脂製品製造業				

事業所の概要		当社は樹脂製品加工を主業とし、産業機器向け部品を中心に受注生産を行っている。創業以来、高精度かつ安定した加工品質を強みとして、近隣製造業者との取引を継続してきた。少量多品種への柔軟な対応を重視し、顧客の要求仕様に応じた加工体制を構築している。					
環境分析	外部環境	外部環境として、製造業全体で品質要求の高度化と短納期化が進んでいる一方、熟練作業者の高齢化が進行している。					
	内部環境	内部環境では、加工技術や顧客対応力に強みがある反面、測定工程の属人化や検査精度のばらつきが課題となっている。					
3年後のあるべき姿		定性目標として、品質面で信頼される樹脂加工事業者として取引先から選ばれ続ける存在となることを目指す。定量目標として、不良率の低減と再加工削減により生産性を向上させ、3年後に売上高を安定的に維持・拡大する体制を構築する。					
あるべき姿の達成に向けた取り組み		品質の安定化と生産性向上を実現するため、加工後の測定・検査工程を強化し、作業者の経験に依存しない品質管理体制を整備する。あわせて、検査データを活用した工程改善を進め、全体の業務効率向上を図る。					
事業計画	解決策 アクションプラン	高精度な測定器を導入し、加工後の寸法検査を定量的に実施できる体制を構築する。測定基準を統一し、作業手順を明確化することで、誰でも一定水準の検査が可能な仕組みを整える。併せて測定結果を記録し、品質改善に活用する。					
	本補助金に係る取組	本補助金を活用し、樹脂製品の寸法精度を高精度に測定できる測定器を新たに導入する。導入後は、測定方法や判断基準を社内で共有し、日常業務として定着させることで、検査工程の効率化と品質の均一化を進める。測定器の活用を前提とした運用体制を整え、導入から実運用までを計画的に実施する。					
	事業の実施期間	2月1日から3月10日まで					

	取組によって見込まれる効果	高精度な測定器の導入により、加工後の寸法検査を定量的に実施できるようになり、不良品の早期発見と再加工の削減が見込まれる。これにより材料ロスや手戻り作業が減少し、検査および製造工程全体の効率化が進む。また、測定結果を蓄積・分析することで品質のばらつきを抑え、安定した製品供給が可能となる。品質面での信頼性向上により、既存取引先との関係強化や新規受注の獲得につながり、売上および収益性の向上が期待できる。
	賃上げへの波及効果	生産性向上とコスト削減によって収益体質を改善し、安定的な利益確保を図ることで、従業員の賃金引上げ原資を確保する。

財務目標		売上	売上総利益	営業利益
	直近決算	60,000,000	10,000,000	5,000,000
	3年後目標	70,000,000	11,000,000	6,000,000
	目標伸び率	16.7%	10.0%	20.0%

商工会記入欄

本書の内容は、精華町中小企業等賃上げ環境整備応援事業補助金交付要綱の目的に沿った取組であることを確認しました。

年 月 日

経営支援員：

商工会受付印

別記様式第2号（第7条、第8条、第10条関係）

事業実施計画書（~~変更事業実施計画書~~）

担当者：精華 花子

電話番号：***-****

E-mail：seika@...

事業所名	セイカ美容室			代表者	代表取締役 精華 花子		
郵便番号	619-0243	住所	京都府相楽郡精華町南稲八妻				
創業年	1985	法人区分	個人	資本金		従業員数	1人
業 種	娯楽業以外	主要商品	理美容業				

事業所の概要		当店は地域密着型の美容室として、カット・カラー・パーマを中心に幅広い年齢層の顧客にサービスを提供している。開業以来、丁寧な施術と接客を重視し、既存顧客のリピートに支えられてきた。一方で情報発信は限定的で、新規顧客の獲得は主に紹介に依存している。
環境分析	外部環境	美容室の競争が激化する中、地域では価格よりも安心感や通いやすさを重視する傾向が強まっている。高齢化や人材不足の進行により、地域に根差した経営の重要性が高まっている。
	内部環境	当店は丁寧な施術と接客で固定客に支えられている。一方、新規顧客に店舗の特徴や雰囲気が十分に伝わらず、将来に向けた顧客層拡大が課題となっている。
3年後のあるべき姿		地域の暮らしに寄り添う美容室として、幅広い世代から継続的に選ばれる存在となる。施術品質と接客の信頼を基盤に、安定した来店と関係性を築き、地域に根差した持続的な店舗運営を実現する。
あるべき姿の達成に向けた取り組み		1. 施術品質と接客水準を維持・向上させ、世代を超えて安心して通える体制を強化する 2. 店舗の特徴や想いを整理し、来店前後を通じて顧客との関係性を深める仕組みを整える 3. 地域住民との接点を広げ、継続的な来店と紹介につながる地域密着の取り組みを進める
事業計画	解決策 アクションプラン	1. 施術内容や接客基準を整理・共有し、安定したサービス提供体制を整える 2. 店舗の特徴や施術内容を伝えるため、ホームページを更新し来店前の不安を軽減する 3. 既存顧客との接点を深め、紹介や口コミにつながる地域密着の取組を進める
	本補助金に係る取組	2. ホームページの更新 現行ホームページの掲載内容を整理し、施術内容、料金体系、施術の流れなど来店前に必要な情報を分かりやすく掲載する。あわせて、施術事例や店内写真を更新し、店舗の雰囲気や特徴が視覚的に伝わる構成とする。スマートフォンでの閲覧を前提に導線を見直し、検索から問い合わせ、来店までを円滑につなぐ情報提供体制を構築する。

事業の 実施期間	ホームページの情報充実により、検索経由での閲覧数や問い合わせ、予約の増加が見込まれ、新規顧客を安定的に確保できるようになる。来店前に施術内容や料金が明確に伝わることで、来店後のミスマッチが減少し、顧客満足度の向上につながる。これによりリピート率が高まり、売上の安定化と経営基盤の強化が期待できる。
取組によって 見込まれる 効果	生産性向上とコスト削減によって収益体質を改善し、安定的な利益確保を図ることで、従業員の賃金引上げ原資を確保する。
賃上げへの 波及効果	生産性向上とコスト削減によって収益体質を改善し、安定的な利益確保を図ることで、従業員の賃金引上げ原資を確保する。

財務目標		売上	売上総利益	営業利益
	直近決算	6,000,000	5,000,000	2,500,000
	3年後目標	7,000,000	5,500,000	3,000,000
	目標伸び率	16.7%	10.0%	20.0%

商工会記入欄

本書の内容は、精華町中小企業等賃上げ環境整備応援事業補助金交付要綱の
目的に沿った取組であることを確認しました。

年 月 日

経営支援員：

商工会受付印

別記様式第2号（第7条、第8条、第10条関係）

事業実施計画書（変更事業実施計画書）

担当者： 精華 花子
電話番号： ***-****
E-mail： seika@...

事業所名	有限会社セイカ工務店			代表者	代表取締役 精華 次郎		
郵便番号	619-0243	住所	京都府相楽郡精華町南稲八妻				
創業年	1985	法人区分	特例有限	資本金	300万円	従業員数	5人
業 種	建設業	主要商品	一般建設工事、リフォーム				

事業所の概要		当社は地域密着型の民間工務店として、木造住宅の新築およびリフォーム工事を主に手がけている。設計から施工まで一貫して対応できる体制を強みとし、施主の要望に応じた柔軟な家づくりを行ってきた。一方で、近年は品質確保と工期短縮の両立が求められており、施工体制の強化が課題となっている。
環境分析	外部環境	住宅市場では品質・性能への要求が高まる一方、職人不足や資材価格の上昇により、施工効率の改善が求められている。
	内部環境	現場対応力や施工経験に強みがあるものの、木材加工工程の一部を外注や手作業に依存しており、工期や品質のばらつきが課題となっている。
3年後のあるべき姿		木材加工から施工まで一貫した体制を整え、品質と工期の両面で安定した住宅供給を実現する。少人数でも無理なく対応できる施工体制を確立し、地域で信頼され継続受注に応えられる工務店を目指す。
あるべき姿の達成に向けた取り組み		1. 木材加工工程を内製化し、加工精度向上による施工品質の安定化を図る 2. 加工から施工までの作業手順を整理・標準化し、省力化と生産性向上を進める 3. 品質管理方法を見直し、施工精度の可視化による信頼性向上を図る
事業計画	解決策 アクションプラン	1. 木材加工用機材を導入し、構造材・造作材の寸法精度を安定させる 2. 加工方法や安全管理を含めた作業手順を整理し、社内で共有・定着させる 3. 加工結果を記録・共有し、品質改善と作業効率向上に活用する
	本補助金に係る取組	1. 木材加工用機材の導入による寸法精度の向上 木造住宅に使用する構造材および造作材の加工精度向上を目的として、木材加工用機材を導入する。これまで外注や手作業に依存していた加工工程について、機材導入により寸法精度を安定させ、加工品質のばらつきを抑える体制を構築する。

事業の実施期間	木材加工用機材の導入により、構造材・造作材の寸法精度が安定し、現場での手直しや調整作業の削減が見込まれる。これにより施工時間の短縮と作業負担の軽減が進み、工期管理の精度向上につながる。結果として、少人数でも安定した施工対応が可能となり、受注対応力が強化される。品質と工期の両面で評価されることで、継続受注や紹介案件の増加が見込まれ、売上の安定化と収益性の改善に寄与する。
取組によって見込まれる効果	木材加工工程の効率化と品質安定により収益性が向上し、賃金引上げに向けた原資の確保が可能となる。
賃上げへの波及効果	生産性向上とコスト削減によって収益体質を改善し、安定的な利益確保を図ることで、従業員の賃金引上げ原資を確保する。

財務目標		売上	売上総利益	営業利益
	直近決算	15,000,000	6,000,000	2,500,000
	3年後目標	18,000,000	7,500,000	3,000,000
	目標伸び率	20.0%	25.0%	20.0%

商工会記入欄

本書の内容は、精華町中小企業等賃上げ環境整備応援事業補助金交付要綱の
目的に沿った取組であることを確認しました。

年 月 日
経営支援員：

商工会受付印